

## Ⅱ. 分科会の実施報告



## 2017年度メイクフレンズ自主企画分科会

### 1. 目的 「自分のメイフレを見つけ、次へつなげよう」

**理由** 分科会で様々な意見に触れあっていく中で、自分に足りない所や新しい考えを発見して自分の視野を広げて欲しい、また、ただ意見を交換していく分科会ではなく、自分の中でのメイフレの意義、現状での改善点等、実践的なことも話し合っていき、次の活動・企画へと繋げていく場にもして欲しいという思いからこの目的に設定した。

**目標** 「それぞれの意見や想いを交わし、受けとめよう」  
自分と異なる意見に対して、一旦受けとめ自分の中に持ちかえることで、自分の考えの幅を広げてほしい、これらを心がけていくことで、自分のメイフレを見つけていくことが出来るのではないかと考えた。

### 2. 分科会で取り扱う議題について

分科会の議題を考えるにあたって、分科会委員で話したい内容に関して話し合った。話し合いの結果、目的にもある“自分のメイフレ”というものを見つけられるような議題にしたいという声が多く上がった。そこで第1部では『自分のメイフレについて』を共通議題とした。

第二部ではより実践的な話をしていき、次へつなげられる話し合いにしたいと考え、疑問点、改善点に特化した議題を分科会委員でいくつか挙げ、アンケートの集計結果から次のような5つの議題を設定し、希望調査・具体的内容の調査によって班構成を行った。

#### ～第2部の議題について～

- ①目的について（見たい姿との関連等）
- ②普段の話し合いの頻度・形式等について
- ③単発特有の問題について
- ④プランナー特有の問題について
- ⑤ホール特有の問題について



- 1班：①目的について
- 2班：①目的について
- 3班：①目的について
- 4班：②普段の話し合いの頻度・形式について
- 5班：②普段の話し合いの頻度・形式について
- 6班：③単発特有の問題について
- 7班：③単発特有の問題について
- 8班：④プランナー特有の問題について
- 9班：④プランナー特有の問題について
- 10班：⑤ホール特有の問題について

# 実施計画

## 1. 時間 13:15～16:20

- 13:15～ 開会式 (10)
- 13:25～ 第一部意見交換会 (70)
- 14:35～ 休憩 (15)
- 14:50～ 第二部意見交換会・事後アンケート (80)
- 16:10～ 閉会式 (10)

## 2. 議題

第一部：自分のメイフレについて（全班共通）

### 第二部

#### 1 班：目的について

- 1 年：外間 春花
- 2 年：小柳 澄夏 坂本 良弘 新谷 真由 西田 菜那子
- 3 年：清崎 万桜
- 4 年：高田 知佳

#### 2 班：目的について

- 1 年：稲津 京華 福井 由紀
- 2 年：荒木 恭平 三嶋 志保 吉田 和真
- 3 年：中村 綾
- 4 年：狭間 葵

#### 3 班：目的について

- 1 年：鶴田 季良莉 森田 琉南
- 2 年：白石 慶太 辻 源輝 土井 美慧
- 4 年：稲福 祐人

#### 4 班：普段の話し合いの形式・頻度について

- 1 年：木村 美貴
- 2 年：鐘築 瑞季 川添 詩絵里 城 可純 村上 ゆう
- 3 年：谷富 彩香
- 4 年：鮫島 優美子

5班：普段の話し合いの形式・頻度について

1年：那須 啓一郎 野崎 千春  
2年：佐原 椋大 島村 健佑 林田 幸祐  
3年：高橋 海咲  
4年：反後 克彬

6班：単発特有の問題について

1年：酒見 千亜希  
2年：浅井 敬大 牧之瀬 佳乃 松岡 諄 米村 剛  
3年：古田 聖佳  
4年：藤本 りえ

7班：単発特有の問題について

1年：岡本 ゆうき  
2年：木村 果鈴 清水 彩加 千々松 美紀 前田 紗奈  
3年：宮田 佳尚  
4年：永渕 敦弥

8班：プランナー特有の問題について

1年：黒田 大世  
2年：岩田 裕美 太田 愛弓 門田 昌大 後藤 那加  
3年：児玉 知夏  
4年：松尾 勇治

9班：プランナー特有の問題について

1年：永田 未久  
2年：秋原 一佳里 永藤 里菜 大野 克廣 原 千種  
3年：笠 笑太  
4年：松尾 詩織理

10班：ホール特有の問題について

1年：月原 野乃花 嶋田 恵美李  
2年：河野 柚奈 三角 理菜  
3年：佐藤 七海  
4年：青崎 勇太郎

第一部 ( 1 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (まりん シベリア Ms.みん ばりい ぼぼ あんず)

(あんず) 司会のあんずです。まず自分のメイフレ (やりがいやポリシーなど) について教えてください。

(シベリア) 話し合いは沢山あるけれども大学に入って居心地がいい場所、自分の居場所になって、大学生生活の核になるものだった。一年生の時は自分より学年が上の先輩しかいないから遠慮や緊張があって、三役などで大変な時もあったけど、先輩のおかげで楽しいって感じることができるようになっていった。

(まりん) 私はプランナーに入って一年間やってみて、ほんとにきつくてやめようと思った。その時の班長さんに辞める意志や班の嫌なところも伝えると、「嫌なところは解決して行くから残ってくれない」といわれ、その温かさで続けることができた。そこから、子ども子どもってなっていた所からメイフレの人たち (仲間) にも目を向けるようになって、あれをしてくれない・これをしてくれないって思っていた自分も変わって、自分にできること何かという風に考えるようになった。ポリシーは持ってなかったけど、人の素敵だなと思ったことは口に出してきた。やりがいは沢山あるけど一番は活動をやり終えた時に、一人じゃなくて班のみんな、学年のみんなと「やり終わったね」と言える時間。一番幸せに感じる。

(Ms.みん) メイフレは実習の場でもなく、家庭の中でもなく、子どもが私達にしか見せない姿もあると思って、子どもの姿を見るという意味で子ども理解に繋がられる唯一の場なのかなと思っている。カードを作って最後に発表させると言うホールの活動で、中々心を開いてくれない子がいたが、学生何人かで話を聞いてあげていくうちに、少しずつ悩みなどを話してくれ、初めは控えめだった子が進んで発表するぐらい元気になっていた。元気がない理由は親も知らなかったらしく、私たちには見せてくれる姿がある、私たちの企画してくれた活動でこんなにも笑顔になって楽しんでくれたんだというエピソードが今でも心に残ってて、こういう姿を見られるのがメイフレかなと思った。

ポリシーは子ども一人一人が良い所とか個性を持ってるかなと思っていて、そこを見抜いて成長を促せるような教師になりたいので、メイフレでもその人のよさとかを見出せるように考えて行動していること。

(ぼぼ) 子どもが大好きで、堂々と子どもと接することのできる場がメイフレだから楽しい素敵なお場。話し合いの場面で上手に伝えられないことがよくあるが、理解しようと聞いてくれる人が多くいて、先輩後輩から学べるものが沢山あるからいい。三役をした時にやめたいなと思うときもあったが、その時にちゃんと話を聞いてくれる存在がいることは恵まれていると思った。ポリシーは常に子どもの気持ちになって考えることで、自分が子どもだったらどう思うかを大切にしている。

(ばりい) 皆から学ぶことで例えば何を学びましたか？

(ぼぼ) 理解しようと聞いてくれる人が多いから、思ったことが伝えら

れる素晴らしさを学ぶことができた。人の真剣な姿から学ぶものって結構あるんですね。

(まりん) メイフレは仕事っぽい所もあるぶん、趣味とか性格だけでなくその人の深い所まで知ることが出来る。

(ぼぼ) 普通に生活していたら見えないけど、メイフレは人の考えとかがすごく分かって、でもそういうのが多分その人を一番理解するためにいいのかなと思う。

(ばりい) 私は目的決めのときが一番好きです。活動の内容に入ってしまうと、どうしたら上手くいくか楽しいかという話になりがちだが、目的決めの時は各々の子ども観 (自分が思う子どもについて等) を聞けて、そういう考え方もあるんだと学べる所がやりがい。ポリシーはブレ等の後は時間配分や危機管理が (もちろん大事なんですけど) 大丈夫かという不安に意識がいきがちで目的を振り返る時間が少なく感じる。だから、活動本番の前にどういう経緯でこの支援があるのか、なんでこういう目的になったのか、共有ノートを見て振り返るように心がけている。あと、二年生になってたまに話し合いを毎日行っているから行くという風になっていた。どうしてなのか考えた時にメイフレっていう意識が足りないのかなあ…と思い、そこから自分なりにメイフレに積極的に関わっていきこう、そういう場を自分から作っていきこうと思った。

(シベリア) 二年会とかもめたりしたのかな？

(ばりい) 二年生の代だから、二年が中心になっていく必要があるけれど、人それぞれ考え方が違うからその考え方の違いで揉めることはありましたね。

(あんず) では最後に私はプランナーにいて子どもの様々な成長に会えると思った。個人の成長としては話せなかった人が話していたり、夏には人の意見が聞けなかった人が秋冬にはみんなの意見を受け入れてる姿が見られたりようになって成長を感じた。初めは敬語で大人びている子もいたが、プランナーとしても仲良く協力して班全体の成長も感じた。学校にはクラスはあるが学年が一緒である。学年は違っても一つになれるのがメイフレの特徴であると思った。子供たちが仲良くなる過程に自分たちがいることがメイフレに入って良かったと思う所。ポリシーは子どもと会う時に、自分なりの目的を考えて (1人は喋る、はしゃいでる子どもに対してダメって言うだけでなくちゃんと理由も説明するようにするなど) その反省を糧にすること。

(あんず) では時間あまったので、メイフレやった中でここ大変だったとか、後輩に伝えたい！っておもうことがあったらお願いします。

(Ms.みん) ホールの活動で96人来た時、何処から始めたらいいか分からなくて、活動が凝ったものだったから始めたいけど出来ないっ

てなった時焦った。その場で違う活動に作り替えないといけなかった。

(あんず) こどもが沢山並んでる中で、「こんなに人多いなら帰ろう」  
っていう子はいなかったんですか？

(Ms.みん) それはなかったね。でもメイフレの一年生にとったらび  
っくりしたみたいで、反省会でも「自分は何も出来なかった」って言っ  
ていた。でもそれ以降はホールでは大人数来た時の対応もちゃんと考  
えたり、材料も沢山用意するようになったし、次の実験の活動に生かす  
ことが出来たから学びのある失敗でしたね！

(シベリア) 今の3、4年生を見たときに後輩に対して「こらー」っ  
て本気で怒る先輩もいないし、逆に先輩に向かって不満などを言う人  
もいない。僕が三役だったときとかは、先輩が怖いって感じる時があ  
ったけど、お互いメイフレに対しての熱い思いであったり、しっかりし  
た自分の考えをもって、後輩に気を使って優しく言うとかではなく、  
先輩だから遠慮するでもなく、ちゃんと自分の意見を伝えるって  
いうのが印象的だった。僕は昔の環境と今の環境が違うからダメって  
言いたいのではなく、もっと先輩に言いたいことを言って欲しい。話し合  
いで4年生や3年生が言った意見がそのまま通ってしまうけど、先輩  
の意見に対してしっかり思うことがあるなら言うべきだと思う。断片  
的に聞いた話し合いの内容で、出した意見がするっと通ってしまうこ  
とがあると三年生の中でも話が出ていた。

(まりん) 私も一年生の時それが原因で辞めたいなって思ったことが  
ある。何を言っても上級生の意見が通ってしまい、更に先輩が賢かった  
から勝てないし…それなら話し合いに行って一年生が意見を言う必要  
あるのかな、いても意味ないのかなと思った。一年生だったら自分の思  
うことを言うのが仕事だし、それを受けとめて貰うのが仕事だと思う  
から…

(シベリア) 確かに理にかなっていることを言う先輩はおどると思うけ  
ど、それでもかませて欲しい。

(あんず) 「○○じゃないかな？」と思う時もあるが、4年生に比べた  
ら経験値も少ないし、語彙力もないからって考えた結果「そうですね」  
っていつってしまう。

(まりん) 私もそれで戦意喪失してしまった。だから自分が二年生の時  
に一年生の近くに三年生を置いて一年の意見を聞いて貰う様にした。  
難しいけど反論する後輩であってほしいし、反論される先輩であって  
ほしい。

(ぼぼ) 私は先輩に対しても結構自分の意見を言っていたが、それは受  
け入れてくれる雰囲気があったから言えたと思うので、そういう雰  
囲気を作ることが出来れば状況が変わってくるのかなと思う。

第一部 ( 2 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (シーちゃん、らあや、りばていー、東、スーザン、まぶし、ちはや)

|  |   |
|--|---|
| <p>(司会) まず、メイフレのやりがいについて皆さんから意見を聞いていきます。</p> <p>(まぶし) やりがいに関して考えてみると、ここ最近で変わりました。2年の後期になって、今まで3役とかを経験したことがない中班長をすることになって、班長側からのやりがいのようなものを実感できた気がします。まとめる立場になって活動に参加しなければならなくなったということもあり、これまで以上に子どもの姿、考え方、心理などを深く考えて支援などを考えつつ企画をしていくことができました。そんな風に考えられること自体やりがいですし、考えた支援が上手くいって、子どもたちの良い姿をみることができれば、そこでも大きなやりがいを感じます。</p> <p>(司会) 今の意見に関して、共感やもっと知りたいなどあればよろしくお願いします。</p> <p>(シーちゃん) 班長は結構きついなと思いますが、それでも頑張ろうと思えたのは何ですか。</p> <p>(まぶし) それこそ班長側のやりがいではないですが、プレから改善して見せた、活動成功させられた、といった気持ちから頑張れた部分もあります。</p> <p>(司会・ちはや) 次に自分の方からやりがいに関して言わせていただこうかなと思います。2つありまして、一つは教員になるためのスキルといったようなものが身につけられることです。東部でプランナーさせていただいて、その中で子どもたちに今日はこんなことやろう、などとまとめる機会をいただいたこともあり、子どもたちにどう伝えたいことを伝えていくかに関して学べました。そこをもっと深めていくことがやりがいです。あとは、子どもと学生に関われること自体がやりがいです。子どもに関しては、最初はそれほど好きではなかったのに、笑顔などを見て、どんどん関わるのが楽しくなったのだと思います。学生に関しては、活動以外でもかかわることも多くなり、なくてはならない存在になっていきました。</p> <p>(シーちゃん) 教員にはなろうと思ってたんですか。</p> <p>(ちはや) そうですね。もともと社会が好きで、みたいな感じではありましたが、そこもメイフレのやりがい子どもを好きになって、子どもと関わりたいと思って目指しています。</p> <p>(まぶし) 他にちはやに何かないですか。</p> <p>(らあや) 子どもと触れ合うのが楽しいって言えるのは、ちはやが積極的に子どもと関わっていきこうとする姿勢があったからこそで、そうやってやりがいできていくことはとても素敵なことだと思います。</p> <p>(ちはや・司会) 確かにもともと子どもがそんな好きじゃなかったからこそ、沢山活動に行って経験が積めたらいいとは思っていましたが。だから後期はなるだけ多くの活動に参加していました。</p> | <p>では、こちらへんで、りばていーさん、大丈夫ですか。</p> <p>(りばていー) ちはやの話聞いて、ってわけでもないですが、他班募集に行って、その行った先の学生自分たちの活動にも参加してくれるっていうのもやりがいかな、と思いました。</p> <p>あとは、メイフレに入ったきっかけとして、子どもと関われるサークルに入りたいという感情がありましたが、イメージとしては子どもと沢山あえて沢山遊べるといったものでした。でも実際は、副班長などしてみると、準備であったり物品であったり、頑張らないといけないことが多く、そういったところで先輩たちに追いつこうと学んでいくことができたのはやりがいでした。また、プランナーに移動してみて、新たなやりがいを見つけることができました。子どもの成長が目に見えてあると思って、それをどう引き出していけばいいのだろうと考えていけることがやりがいでした。</p> <p>(東) 確かに成長を見ることができたときのやりがいはすごいですね。同じ子どもの成長を見たいと思って会いたい、話したいと活動に行ってるまであります。</p> <p>(りばていー) やはり、プランナーだけのやりがいで感じはしますね。今学ぶべきものはプランナーにあると思うので、来年もプランナーになろうと思います。</p> <p>(スーザン) 私は、メイフレに入った理由として子どもがすごく好きで、っていうのがあります。中高生の時もジュニアリーダーという活動をしてました。大学に入って、体育祭に参加していましたがもっと子どもと関わりたいと思ってメイフレに2年生から入りました。だからこそ、活動中に子どもの笑顔が見られたりするときにやりがいを感じます。また、話し合いや振り返り会で自分と違う考えに出会えるのもやりがいですね。</p> <p>(司会) シーちゃんさんよろしくお願いします。</p> <p>(シーちゃん) やりがいとしては、子どもと沢山会えるとか先輩や他の人のすごい考えを知れるのがいいと思っています。あとは、話し合いが大変ではありますが、そこで深く考えられる、自分は何を思って、考えているんだろうと気付けることなどもやりがいなと思っていました。そして大学になって、メイフレに入って初めて自分たちで何かができるという場を与えてもらっていることもやりがいです。こういった経験をしたからこそ、子どもたちを教える立場になった時に、子どもたちに考えてもらえる場をしっかりと作れると思います。やりがいがあるからこそ、4年間頑張れるんだとも思います。</p> <p>(らあや) 私は、ずっと子供が好きで、やりがいを一番感じるのは子どもが純粋に楽しんだり、活躍しているときです。例えば支援が必要な子とかは学校では活躍するのが難しくても、メイフレの中では支援などもしっかりと考えられているので、一部だけでもリーダー的な感</p> |
|--|---|

じで活躍しているのを見るとやってよかったな、とやりがいを感じます。

あとは、話し合いに関しては、班長をしていた時に特になんですが、みんなから支えられているっていうことが、ありがたさに気付いてやりがいでした。班長は責任が凄く、確かに大変でしたが、みんながしっかり助けしてくれたし、仲も良かったのでみんなが頑張っているから私も頑張ろうと思えました。やはり班でやっていくときには、コミュニケーションが大切だと思います。責任という点では、一つ大変だった活動があって、その活動では保護者対応など一人で様々なことに追われて大変でした。しかし保護者に見せて学生には見せないような姿を見ることができ、責任とともに大きなやりがいを感じることができました。

(しーちゃん) 聞いてて思ったのは、沢山の子どもにそれぞれみんないいところがあるっていう話から、子どもにはこれが正しいなんて姿はないんだと思ったのもメイフレに入って分かってよかったことだと思います。

(司会) では最後に東さんお願いします。

(東) やってよかったということなんですが、一年間プランナーして最後に一人の子どもが自分にだけ手紙をくれたんですよ。引っ越し子なんですけど、その内容で、最後の文に「次の学校行くけど、東みたいな人が担任だったらいいな」と書かれてあって。それ見たときにほんとにやってよかったなと思いました。個人的に、ずっと支援し続けた子だったので、自分の支援が良かったのだとも思えて、本当に良かったです。

(司会) 皆さん本当にありがとうございました。本当はポリシーなどについてもお聞きしたかったのですが、時間となりましたのでここまでとさせていただきます。皆さんの考えなどが聞けて本当に良かったです。

第一部 ( 3 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (ぽんちゃん、よっちゃん、ざらし、カルア、がんでいー、ぬっぴー、のんちゃん)

|   |  |
|---|--|
| <p>(ぬっぴー) 1年生の時は単発班で過ごしてきて、まだ、1年生ということで役とかをたくさん担うわけでもなかったので、先輩方の活動に対する姿勢をただただ、すごいと思ひ、先輩方の背中に一生懸命ついて行くことを頑張っていた。2年生になってから、プランナーに入った。最初はプランナーのことは無知でプランナーとは何か、企画や活動を通して学んでいく部分が多かった。そんな中、2年生として班の中心として活動を進めていくのに加えて後期からは3役として班を作っていく立場になった。プランナー初心者で、全く話し合いがうまくいかないこともあり、苦しかったこともあったけれど、活動がうまくいったときはやってよかったと思った。プランナー、お客さん、班の学生、3役他の二人のことを同時に考えていかなければならず、大変であった。苦しいことがあった中で、助けてくれたのは、同じ2年生や先輩方だった。例えば、1年生から、メイフレに対する相談を受けたことがあって、その時は急ではあったが月曜の1日から班の2年生で集まってどんなサポートが必要か、話し合う時間を設けた。この1年間はいい仲間恵まれていて、活動もとてもやりやすく、居心地がいい場所だった。来年度は3年生として、次の2年生にアドバイスをしながらも、見守るという立場になっていく。だから、私の来年のポリシーとしては、子どもに対する支援も第一ではあるが、班の学生が、メイフレを楽しみと思える、居心地よい班づくりに貢献していけたらと思う。皆さんは何でメイフレに入ろうと思ったのですか？</p> <p>(カルア) きっかけとしては友達に誘われた、入学式の時にたくさん勧誘が来た時に、面白そうと思ったというものである。しかし、大学4年間ただ普通に時間を過ごしてももったいない、プラスに得るものが欲しいと思ひ、入ったのが大きい。2年間過ごしてきて、すごくたくさんものを得てきたと思う。自分にとってのメイフレは、自分の糧になるものである。子どもとかかわる機会は普通に大学生活を送っていてもあまりなく、メイフレで子どもと過ごしていく中で子どもにこういう風に働きかけをしたら、こういう風に帰ってくるんだろうなというものわかるようになってきた。</p> <p>(がんでいー) 自分は単位が欲しいという思いから入った。入ったきっかけは簡単であったが、今日にシンポジウムで発表をして、メイフレをやってきてよかったなあと思ひ。班長を経験して3役会を行って、昼休みの話し合いを作っていく中でプラスに得られるものがあつた。</p> <p>(ざらし) 自分がメイフレに入った理由は、ただただ楽しそうだからというものであつた。楽しむということ。その過程でキャンプや外部依頼にたくさん行くことを心掛けてきた。そのことを通して大抵のことでは動じなくなった気がする。キャンプでは一人で7-8人の子どもを見るのは普通で、班付きをやらせてもらうと、何かが起きても落ち着いて対処できるようになった。メイフレに入って、過ごし方次第で子どもたちとの関わりがたくさん持てると思ひ。全フレに行つて、外部依頼は熊大のみだと知り、いい経験がたくさんできる場だと思ひ。</p> <p>(のんちゃん) 私がメイフレに入った理由は、4年間で何か得るものが欲しいと思ひたからである。入つてみると、体験を通した学びが大きいと感じる部分が多く、「子ども」とひと塊でとらえていた部分が以前はあつたが、それぞれに個性が</p> | <p>あつて、一人一人を見るのが大切だと思ひ。ポリシーとしては、その一人一人を観察していこうと思ひ。単発で活動してきて、前の活動に来てくれた子どもが、また来てくれたときはやりがいになることがある。</p> <p>(よっちゃん) 入つた当時は何のために入つたか何も考えていなかった。花見や新歓にも参加していなかったし…1年生の時は1コ上の先輩が班のことを考えて活動を作っているのがすごいと思ひていて気づいたら班長になりたいと思ひてた。学んだことは語り切れないほどある。自分は人見知りもせず、浅く広くしゃべれる性格である。メイフレに入って、先輩が小さなことでもしゃべってくるの意味が分からなかつた。でも、そんな一言でも、話すこと必要さ、意味を学んだ。過ごしていくうちに班長になって船長をしようという野望を抱き始めた。船長になったとき、さつき、ぬっぴーが、班を過ごしやすいものになりたいと言つていたように、自分はその規模がメイフレ全体になっていた。だから、自分は、「メイフレをやめたい」という人がいることがすごく悲しかった。これからは、メイフレの中心である2年生にすべてを任せるとはなかつた、自分があるうちはやれることをやっていきたい。関係ない話だけどメイフレはオリンピックのパシュートに似ている。一番前のきつい位置に立っているのは2年生で、その後ろが1年生か3年生。4年生は忙しいけれど、経験を生かしてアドバイスをしてくださる、見守る立場。みんなが一緒のペースで行けるように支えあつていつたからこそ、オリンピックでは、日本は金メダルが取れたのではないか。自分にできないことはやらなくていいし、やれることを精一杯頑張ればいいと思ひてる。</p> <p>(司会・のんちゃん) メイフレに入る前後で変わったことはありましたか？</p> <p>(ぽんちゃん) 自分は高校の先生になる気がなかつた、元々、子どもがそんなに好きでもない。入つたとき、周りの先輩が思つたことを言つて、怒つて、ゲラゲラ笑つて。そんな環境がすごいと思ひ。メイフレはよく先生方にすごい褒められるから、鼻が高かつた。でも、ただ在籍しているだけじゃなくて、さらなる段階を目指すことをポリシーにしてきた。変わったことは、自分は昔から、教科を教えることが好きだけで、塾講でもいいと思ひてた。でも、1回、キャンプに行つたことがあつて、長い期間子どもたちを見ることの楽しさを知つた。一人の人間としてかかわりあうことの楽しさを学ぶことができた。</p> <p>(よっちゃん) ぽんちゃんさんの話を聞いて、変わったことなんだけど、中高生の時は自分が正しいと思ひてきた。自分と違う人と喧嘩したことあつた。高校の後半では、ちょっと大人ぶつて、自分と違う人とのことも「面白いじゃん」と思ひてきた。でもメイフレに入つての話し合いでは、1、2年生はバチバチ意見が対立することが多かつた。その中で、3、4年生は意見の違いを認め、折衷案などを出してくれた。人と意見が違うことは悪いことではないということ、どちらかの意見が壊れるのではなく、互いの意見をすり合わせることで大事だということが分かつた。自分と異質な人、モノにぶつかつたときにストレスを感じる必要なものではないかなと思ひ。</p> |
|---|--|

第一部 ( 4 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」  
メンバー (わかちゃん、ぼむ、でーる、ドリー、ぴよ、じゅん、モカ)

|   |   |
|---|---|
| <p>～やりがいについて～</p> <p>(モカ) 一年間活動してみて思ったやりがいが3つあって、1つめはすごい柔軟性が身につくようになって思った。柔軟性にも二つ分かれるんですけど、実際に子どもに会ったときはもちろん、計画する中でも色んな子を想像して計画をするところの2つ。これはメイフレじゃないとなかなかしないことだしすごいなと思うところの一つ。二つ目は様々な意見が聞けるところ。1-4年生がいて、3種類の班に属する人がいて、その色んな人達の意見を聞ける環境なのは恵まれていると思った。特に後期の中央単発班はプランナーやホールから来た人も多くて、他の班じゃ無いと思いつかないような意見とかも聞けたりしたので色んな意見を聞いて良いなと思った。最後はやっぱり子どもたちの笑顔が見れるところ。もともと教師になりたいと思った理由も将来子どもたちを笑顔にさせたいなと思ったのがあって、もちろん子どもたちの活動中の笑顔もすてきだけど、後期三役をしてみて、活動が終わった時の達成感を皆で共有出来るところや学生同士で笑顔が溢れるところもやりがいです。</p> <p>(じゅん) メイフレでのやりがいを考えたときに、私はやりがいうんぬんよりもただ楽しんでこの場にいるのかなと思った。もちろん、沢山子どもに会えたり、計画する中で沢山の意見に触れたり出来ることは素晴らしいことだと思うし、学ぶことばかりだけど、私は「これをやりがいにメイフレにいます！」って言うよりも、ただこの場が楽しいからメイフレ続けている部分が大きいです。</p> <p>(わかちゃん) 「楽しい」ってとても大事な気持ちだね。私は子どもたちが楽しんでくれることが一番大きなやりがいかなと思います。あとは、三役を経験してから思ったのは活動が終わった時に班員から「お疲れ～、頑張ったね」とか言葉をもらおうと皆で頑張ったんだなって思えたし、いろんなことに感謝出来るようになったり、感謝されるようになった。メイフレって色んな「嬉しい」が溢れているなって思う。</p> <p>(ぼむ) 私のやりがいは二つです。一個目は、実際に子どもたちと触れ合うことで、想像と実際のズレを修正していけるところ。3年生の実習に行って思ったのはメイフレやってたら、少しは実習の子どもたちの「そうくるか！」っていう発言なんかにも対応しようとする感が出る。後は、教師を目指しているひとがこんなにも集えるっていう経験。皆が言っているみたいに、沢山の意見に触れられる、縦横のつながりを作れるっていうところもやりがい。</p> <p>(ドリー) 支援を考える⇒やってみるを繰り返すことが出来る<br/>後は、真剣に話せる場が大きい。自分自身、しゃべること、伝えることが苦手だから、喋る練習にもなっている</p> <p>(ぴよ) 単純に子どもに会える機会が沢山。入ったときは子どもかわい<br/>い！会いたい！だけだったけど、今は、指導的な視点も加わったり、</p> | <p>予想外の行動から学べたりすることがいっぱいある。</p> <p>～ポリシーについて～</p> <p>(モカ) 自分も楽しむ、周りを楽しませようとする<br/>(でーる) 感情的にならない。子どもに対してはもちろん、話し合いの場でも、感情的に意見を対立させても意味が無い。<br/>(わかちゃん) 子どもを常に考える<br/>どうやって少しでも多くの子どもが楽しんでくれるかなを考えて、活動の質を少しでも上げたいと思う。教師になったら効率重視になっちゃうから、今しか出来ないことだと思う。<br/>(ぼむ) 自分はどうしたいのかこだわりを持つ<br/>今までは、「(どっちも良いから) どっちでもいいよ」って言うことが多かった。けど、今教採の勉強で小論文の練習とかしていると、自分の意見は何なのかしっかりするって大切だなと感じた。メイフレでの話し合いでも例えば選択肢があったときはどっちかの立場に立つようにしている。<br/>(ドリー) 子どもにどう影響するかを考える<br/>実際に子どもに会った時の発言や行動はもちろん、計画段階で支援を考えたり、危機管理をしたりすることを繰り返すことで柔軟になれると思う<br/>(わかちゃん) でーるのに少し似てるけど、叱ると怒るは違うことを意識している。感情的になられても伝わるものも伝わらなくなる<br/>(ぴよ) 話し合いの時はすぐに目的に立ち返るようにしている。支援なかりを考えていると、活動が終わって冷静になったときに「あれ、この支援いったのかな？」ってなってしまった経験があるから。<br/>活動の時は、目立たない(大人しい)子にも積極的に絡んで行くようにしている。やっぱり元気な子にめがけがちになるが、大人しい子も活動を楽しみにして応募してくれてるんだから、皆に良い気持ちで帰って欲しい<br/>(じゅん) ぼむさんとは逆で、周りの意見を大切にすること。でも自分がこだわりたい部分だけは責任を持って主張する。「ここだけは」っていう部分が集まることで新しい意見や折衷案が生まれたりする。</p> |
|---|---|

第一部 ( 5 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (ゆみやん、よね、モルモ、たむたむ、ケイミー)

|   |  |
|---|--|
| <p>(ケイミー)</p> <p>やりがいにに関しては、その、ゴールは活動なので、その活動で子どもたちの笑顔を見れるのがやりがいにつながるなって思いました。で、ポリシーに関しては、2つあって、1つ目は普段話し合いとか、物品準備とかサークル全体で、話し合いとかの経験を積んで、どんどん今までにはなかった意見を自分が言えるようになったりとか、自分の成長につながっていることが1つ目です。2つ目はいろんな子と出会うことで「こども」を知る？どんな子がいるとか、いろんな子を身をもって知ることができるのが2つ目です。</p> <p>活動自体が公民館とか地域を通じてなので、公民館とかと直接つながることは今までなかったの、それも自分の経験になってきているなって1年かけてですけど、分かったというか体験したので生徒と先生になる前の、今ならではのことだなと思って・・・</p> <p>いい経験をしていると自覚して、今からも頑張っていきたいなと思いました！以上です！</p> <p>(ゆみやん)素晴らしい！</p> <p>(全員)拍手</p> <p>(ゆみやん)いいね！先生になるの？小学校？</p> <p>(ケイミー)今はそうですね！はい！そういうことで次いきましょうか</p> <p>(たむたむ)</p> <p>私のやりがいも、ケイミーといっしょかな</p> <p>最終的にはやっぱり、いろいろ頑張って、みんなで話し合っ、がんばって「んー」って考えたことが子どもたちの笑顔につながるっていうのは、もうほかのサークルとか活動ではなかなかないかなって。こうやって学生でいながら実体験じゃないけど、学生と並行しながら知れるのはメイフレのいいところだなって思っていて、そこがメイフレのやりがいかなって思います。・・・あとは、なんだろう？子どもとの関係もだけど、学生間とかでも、「いい意見出たね！いえーい」とか、「物品めっちゃがんばったね」とかそういう先輩後輩や同学年でも、認め合える、同じ目標に向かって頑張ろうとしている人たちの中に自分もこうしていれるというのが、すごい幸せだなって思っています。前後しちゃうんですけど、やっぱり今後に生かしていけるものを学べているなっていう実感があるっていうのもやりがいの一つかなって思います。方針は、一生懸命。物品とか「そんなにせんでいいよ！」って言われるけどこだわります・・・ですかね！</p> <p>(全員)拍手</p> <p>(ゆみやん)物品づくりに定評があるってきくよ</p> <p>(たむたむ)いやいや、自分がつくりたい！ってなったものを作ってるだけです！</p> <p>(ゆみやん)子どもたちの食いつきがちがうもんね、全然！</p> | <p>(ゆみやん)</p> <p>私は、さっき言ってた子どもの笑顔もちろん、元気になって、だから続けられたっていうのもあるんですけど、一番4年間終えて、やってよかったなっていうかこれがあったから続けられたっていうのは、人とのつながりが私にとっては大きくて、先輩後輩とかほんとにいろんな声が、話し合いの中でも飲み会1つでも、いろんな声が聞いて新しいことを発見できたり、「あ～なんかすごいな」って尊敬したり、それが全部自分の中に吸収されていくというか、それがすごくうれしくてというか楽しくて、4年間やってきたかなって思います。で、ポリシーもそれとつながるところがあるんですけど、メイフレのメンバーにしても子どもにしてもほんとにいろんな人がいていろんな子がいるなって思うので、あんまりこの人をこうしたいとか、子どものことをこれができるようにさせなきゃじゃなくて、その人らしくその子らしく、発揮できるようにできたらって思っ、いつもやっています。だから、ホールだからっていうのも大きいけど、活動考えるときは必ず子ども視線で、子どもにとって本当に楽しいのかとか、学生の押し付けじゃないとかそういうことをずっと考えてやってきたなって思います！以上です！</p> <p>(ケイミー)4年間通して一番うれしかったことはなんですか？</p> <p>(ゆみやん)</p> <p>一年生の時に、やっぱり先輩に認めてもらえたりとかした経験がすごいうれしかったから、気持ちよく続けられた。自分が先輩になっても後輩とそういう風に接することができたらいいなって思いながら・・・やっぱり一年生のときの経験が今に続いてるかな</p> <p>(モルモ)</p> <p>私のやりがいは、話し合いとかで自分にはなかった意見をほかの人とか、先輩から聞いて「あ～こういう意見もあるんだな」っていう新たな学びにつながるし、振り返り会のときに先生が指導してくれるので、そういうってほかのサークルではないし、すごい自分の・・・学べるなって思えることがこのサークルのいいところだなって思います。あと、この前ホールの活動で、わがままを言って拗ねている子がいて、わあどうしょって思っ、いろいろ声をかけていたら最終的にひざに乗ってきてくれたことがすごいうれしかったことです。・・・こういうの、やりがいにつながるなあって。あとは、子どもと接する機会ってなかなかないから貴重な機会だなって。子どもと接されるから、メイフレに入ったので・・・</p> <p>ポリシーは子どもに慣れることかなって。自分はまだ全然。子どもがそんな好き・・・っていうかなんだろう</p> <p>ん～好きじゃない。なんだろう</p> |
|---|--|

あんまり興味なかったのですが、でも、興味は持ちたいなって思っている  
ので今は慣れていきたいなと思ってます。

(全員)拍手

(ゆみやん)子どもがそんな得意じゃないっていうのわかるなって思っ  
た。なんか好きだし、ただこうやってじーっとみてるとかわいいなっ  
て思うけどね

なんか、得意苦手で言ったら・・・

(たむたむ)・・・得意ってなんでしょうね

(ゆみやん)得意・・・ん～うまく扱えることが必ずしもいいことじゃな  
いとも思うけどね・・・かわいいよね

(モルモ)はい！かわいいのはかわいいです

(ゆみやん)単発とホール経験してみよう？ちがいとかな。

(モルモ)単発は長い間話し合って、すごい深いところまで考えるからす  
ごい！単発はいっぱい考えること多かったし、物品がすごかった！

(ゆみやん)ほんと尊敬します、単発さん。

(よね)普通ですよ！

(ゆみやん)ホールは気づく間もなく活動来るから、終わってから、「あ  
～これも足りなかった。あれも足りなかった」ってなるね

(モルモ)プレからの改善とかもいっぱい改善しててすごいなあって思  
いました

(ゆみやん)ホールはプレが終わってからいろんなことが、ば～って決ま  
っていくけんね～

具体的に想像する力が単発さんはすごいんやろうなって思う

(ケイミー)んじゃあ、次よねさんお願いします。

(よね)

ん～やりがい。やりがいがいぶ変わってきたなっていう・・・2年やっ  
てきて、一つはまず入ったときは、3年でしか実習に行けない、その～  
子どもに多く触れ合えるっていうのから興味をもって、ずっと子ども  
と関われるということから、活動をやりがいとして、活動で子どもと  
触れ合えるというやりがいがあった。縁あって、副班と班長をそれぞれ  
経験して今度は、子どもと関われる機会が減って、子どもと関わりた  
いっていう学生と子ども、両方が満足して楽しいなと思ってもらえる  
ように、どう話し合いを進めるかとか、どういう風に班を動かしてい  
けばいいかとか、子どもの視点と学生の視点とを考慮して俯瞰しなが  
ら・・・っていうところをやりがいとしてっていうのが一つ変わって  
いったのと。

それから2年になって、1年の後輩ができて・・・

前期わちゃわちゃしてたなって思ってたなら、副班になって、それぞれ  
他班募集でいったらすごい活動してて、すごいなあって思って。

後輩の成長を見れたっていうのもやりがいがあって思うし、この後輩  
を支えていけるようにしたいなっていうやりがい、まあ方針にも関わ  
ってくとも思うんですけど。

(ゆみやん)すてきです

(全員)拍手

(ゆみやん)そうだね。あたしも今日2年生が前で発表してるのを見  
て、新入生説明会のとき説明したなって思って。その子たちがもう班  
長を終えて発表してるのだから。感慨深いです。って高田さんがいっ  
てた！今の2年生が1年生だったときは地震があったからね、活動  
をさせてあげれなくて申し訳なかった。いろいろあったんよ。・・・  
自分のメイフレについて話していたら、いろんな思いでそのときの想  
いが溢れてきて、日々こうやって活動できていることに感謝の気持ち  
がでてきた。

結論、メイフレとして活動できて幸せであるとしみじみ感じた第一部  
となった。

第一部 ( 6 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」  
メンバー (ノワール、バジル、がく、ナイヤ、ゆに、りこ、ぐりちゃん)

|   |   |
|---|---|
| <p><u>やりがいについて</u></p> <p>(ノワール) 子どもと触れ合う機会が他の教育学部生より多いことから、教師に必要な実践力が鍛えられること。あとは、活動中に子どもの笑顔がみられることがやりがいです。</p> <hr/> <p>(バジル) 子ども達と喋れるようになりました。</p> <p>(ナイヤ) 喋れなかったの？</p> <p>(バジル) 喋れたけど、最初班付きした時、話が続かなかった。プランナーでは、継続して話す機会が増えたことで、うまい返しができるようになったと思う。</p> <p>(ノワール) 活動を重ねるごとに子どもとうまく話せるようになってきているのは自分も感じる。</p> <hr/> <p>(ぐりちゃん) 子どもたちが喜んでる姿を見るために頑張っている。ホールにはいろんな子がきて、強制的にこさせられている子もいる。飽きてた子、ゲームしてた子が、2回目きたときに笑顔で参加してくれたのを見た時、嬉しかった。やりがいを感じた。</p> <p>(ナイヤ) 副班長してみて、感じたやりがいは？</p> <p>(ぐりちゃん) 自分たちが考えたことが成功すると嬉しい。</p> <p>(ノワール) 三役としてのやりがい、三役以外の班付きをしておのやりがい、違ったものがありますね。</p> <p>(がく) 三役は活動に向けてのモチベーションも違って、それがやりがいに繋がったりもするよね。</p> <hr/> <p>(がく) 緊張した顔でやってきた子どもが、活動の中で表情が変わっていき、終わった時に嬉しそうに帰っていく姿を見ると話し合い大変だったけどやってよかったと思う。それがやりがい。</p> <hr/> <p>(りこ) プランナーで子どもが1年間で成長した姿を見た時、閉校式で名残惜しそうな顔をしているのを見た時、やってよかったとやりがいを感じる。</p> <p>(ノワール) それはやっぱり、プランナーでしか感じられないやりがいですね。魅力的ですね！</p> <hr/> <p>(ゆに) メイフレは子どもたちの反応がダイレクトに帰ってくる。試行錯誤すること自体も財産になるが、良くも悪くもその結果がわかることで、次も頑張ろうという気持ちになれる。そこにやりがいを感じる。</p> <p>(ナイヤ) 友達との繋がり、連携の経験ができた。先輩とのコミュニケーションの取り方を学んだ。</p> <p>(ノワール) 同世代と話すときは、子供と話す時も、話しくさを感じてしまう。</p> <p>(ナイヤ) 現場に出たら先輩ばかりで、話す能力が必要になるもんねー。そういうのも学んで行きたい。</p> | <p><u>ポリシーについて</u></p> <p>(ノワール) 話し合いを大切にしたい。他の人の意見を聞くことができる。それを自分の意見に組み込んでいくことで、自分自身が成長することができる場になる。</p> <p>(ナイヤ) 1年生でそこまで考えられてるのは凄い！</p> <hr/> <p>(バジル) 毎日楽しく生きる！</p> <p>話し合いでビリビリしても、終わってからまた仲良く！→絆が深い！いいなあ！</p> <p>そういう班を作っていくのが私のポリシーです。</p> <p>(ナイヤ) いいことだね！</p> <hr/> <p>(ぐりちゃん) 子どもたちの反応を見ること。活動を楽しめていない理由を観察することで考え、次の活動に生かしていく。</p> <p>(ノワール) ホールではそういう子がよくいるから、ホール特有のポリシーかもしれませんね。</p> <hr/> <p>(がく) 思いついた意見は、ためらわず言うようにしている。大したことではなくても、それをきっかけに話し合いが良い方向に進んでいくこともあると思う。</p> <p>(ノワール) そういう人が各班に一人は必要ですね。意見はたくさん出た方が取りの良い活動ができますもんね！</p> <hr/> <p>(りこ) 考える力を身につけようと頑張っている。メイフレに入った時、みんながどんどん意見を出すことに衝撃を受けた。</p> <p>(ナイヤ) じっくり考えて発言することも大切だと思うよ。早さだけじゃないと言うことも大事にしてほしい。</p> <hr/> <p>(ゆに) 長く続くメイフレで、毎回こうだから・・・ではなく、新しいことにもチャレンジしようとしている。でも、どうしてこのように決まったのかは、一度考えるようにしている。</p> <p>(ノワール) しきたりに従っていく方が楽だけど、新しくすることで良くなることもありますよね。失敗しても経験につながるのだから大切だと思います。</p> <hr/> <p>(ナイヤ) 人の意見を否定しないこと。否定されるのは苦しいこと、学生も子どもも同じ。司会だったら、意見を組んで発信してあげることが大事。</p> <p>(ノワール) 自分も、初めて意見を出した時、肯定してくれて自信になった。</p> <p>(ナイヤ) 違うと思うこともあるけど、その時の否定の仕方を考えないといけないよね。</p> <hr/> <p>(ノワール) 今回、自分のメイフレについて意見交換して行って、自分が今まで考えてこなかったことを、自分に組み込むことができました。これこそ名フレのやりがいでもあると思います。これからもお話しできたらいいですね！</p> |
|---|---|

第一部 ( 7 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (おじやる、おれごん、あ〜まん、ニック、かみゅー、うめちゃん、まっしあん)

|  |   |
|--|---|
| <p>(司会:おじやる) やりがいについて聞いていきます。</p> <p>(かみゅー) やりがいは、統括として活動の流れに抜けがないかを確認する作業。また、0から活動を作ってそれが良い活動になった時の達成感。</p> <p>(まっしあん) 統括の仕事は「きつい」というイメージが強いから面白い意見ですね。でも最後に達成感を感じることもやりがいと言っているけど、仕事自体が楽しかったのか、最後の達成感が良かったのかどっちなんだろう。</p> <p>(かみゅー) 両方です。あれもしなきゃこれもしなきゃと大変なこともあるけどそれを一つずつ消していくのが楽しい。</p> <p>(司会) かみゅーさんの意見を踏まえて似ている意見をもっている方は？</p> <p>(まっしあん) 班長としてどうでした？企画作っていく段階は楽しかった？</p> <p>(あ〜まん) 1年で副班長をした頃は上の代が支えてくれていたので、やりがいとかみんなやってる感じがありました。</p> <p>(まっしあん) それはいい意味で？</p> <p>(あ〜まん) いい意味で。副班長のときは本当に支えられてたから頑張りました。1班の人数も多くて、なんかみんなやってるなって感じがあった。やりがいとかなんだろう。</p> <p>(まっしあん) なんというかやりがいは違う心地よさ</p> <p>(あ〜まん) みんなで作っているような</p> <p>(まっしあん) 割とみんなから聞く話だけど、企画とか結構きつい思いする人が多いイメージだったから、かみゅーの言ったのは面白いね</p> <p>(司会) さっきあ〜まんさんが話してくださったのでそのままやりがいを教えてください。</p> <p>(あ〜まん) わがままな子がいても、その子の裏側の気持ちを知るなどして視野が広がった。メイフレは習慣化していきつく。また、外部依頼など様々な活動に参加することで経験をためること。</p> <p>(司会) 全フレなどの他とのつながりを大切にすることが役に立っていくと思います。</p> <p>(まっしあん) あ〜まんと似ているんなこと経験できること、友だちと表面的ではなく深い仲になれることがやりがいで、フレンドシップは友情って意味だったよね。いろんな人と腹を割って話せるような学生間の関わり合いがやりがい。</p> <p>(司会) 私も、メイフレをきっかけに深い仲の友だちができて苦しい時に頼れる。ぶつかることもあるけど一生の仲間だと思います。</p> <p>(まっしあん) 昔仲悪かった人も今は感謝している。二年生は40人くらいいるけど仲いいの？10分も話してない人とかいる？</p> <p>(あ〜まん) 僕は話さないといけない立場なので</p> <p>(まっしあん) そうだね。三年生はどう？</p> <p>(うめちゃん) 仲いいと思っています。</p> <p>(司会) メイフレは100人が集まる大所帯なので合わない人もいるかもしれないけどそういう人とも折り合いをつけることを学べます</p> <p>(司会) ではニックさんお願いします。</p> <p>(ニック) 私は二年生から入ったのでついていくことがメインでした。活動の回数を重ねるごとに受け身ではなく運営側のいろんなことを考えられるようになって、視野が広がった。子どもに楽しいって言ってもらえることに喜びを感じる。</p> <p>(司会) 教育実習では、完成した授業を見るから、授業にいたるまでを見れない。メイフレでは学べる。自分が作り上げたものがあるっていうのがやりがいです。メイフレをしていて良かったことはありますか</p> | <p>(うめちゃん) 指導案を作るとき、「目的」「支援」は「身につけさせたい力」と似ている。</p> <p>(おれごん) 授業のときも、「目的」「見たい姿」が繋がっていたことに気づきます。図工の授業で話し合いを活発にすすめられたこともメイフレに入っていたから。メイフレは指導案作りに似ている。</p> <p>(司会) では、おれごんさんのやりがいはなんですか。</p> <p>(おれごん) やりがいには二つあって一つは子ども中心のやりがい。学習以外の子どもの成長を見られるなど。二つ目は自分中心のやりがい。活動の話し合いを通して引き出しが増える。IB や危機管理のバリエーションを増やしていけることもやりがい。</p> <p>(司会) IB などは知ることはできても実践する機会は少ない。やってみてわかることも多いからやってみることって大切だと思います。引き出しを増やすとは、知識に加え、実践することで充実したものになる。</p> <p>(あ〜まん) 僕は今までのレクをすべてメモしている。活動で時間があまったときに実際に役立った。</p> <p>(まっしあん) 引き出しに関連して、子どもへの声掛けを自然にできるようになった。尊重する声掛けや仲をつなぐ声掛けなど。授業でも役に立つ。</p> <p>(うめちゃん) プランナーに対して、「どうだった？」と聞くときよくわからないような顔をしていたけど、「今日の活動難点だった？」「どうしてその点数なの？」のように聞くとき答えられていた。聞き方のバリエーションが増えた。</p> <p>やりがいは、プランナーの成長を見れたこと。プランナーが「低学年はできない」という基準で話していたのに、後半では「こっちの方が楽しんでもらえる」という基準で話していて、考え方の基準が変わった姿を見ることができた。プランナーしててよかったと思った。</p> <p>(司会) 自分中心のやりがい、子ども中心のやりがいなど、やりがいにもいろいろあることが分かりました。</p> <p>続いてポリシーについて話したいと思います。ポリシーは辞書では「強いこだわり」「ゆずれないもの」と書いてあります。</p> <p>(かみゅー) 私のポリシーは、「子どもを楽しくさせるために自分も楽しくみんなも楽しく」です。</p> <p>(あ〜まん) まじ？</p> <p>(まっしあん) そう思ったきっかけがあったの？</p> <p>(かみゅー) 一年の時は、学生は苦しんで当然だと思っていた。時間がないとかの理由で妥協しなくなかった。班員のことを思いやれてなかったかもしれない。</p> <p>二年になってから、それだけでなく話し合い自体が楽しいのか、班員はどう思っているのかななどに目を向けるようになった。その反省からです。</p> <p>(おれごん) 班員も人間だからね。傷つくこともあるよね</p> <p>(司会) では、班員が楽しめるような声掛けなどありますか</p> <p>(まっしあん) それこそあの「おお〜いえ〜！」じゃない？</p> <p>(かみゅー) そうです。それです。</p> <p>(ニック) 中央は「ちゅうーおー」</p> <p>(あ〜まん) 託麻は「マンジ」</p> <p>(まっしあん) それを考える時間も楽しいよね</p> <p>(おじやる) 重くなりがちな会議をリフレッシュするのは必要ですよ。では次にわたしのポリシーを言います。それは、拒否をしないこと</p> |
|--|---|

です。100人もいれば合わない人もいるけど自分の中で折り合いつけてやっています。

(あ〜まん) 聞いた話だけど、みんなに同じレベルは求めるべきじゃない。人それぞれできることは違うから。

ポリシーは、メイフレの良いところは次につなげていくこと。

(まっしあん) 今まで横のつながりについてだったけど縦の意見も出てきたね

(司会) 下の代にしてもらってきたことなどを還元していく先輩になりたいです。では、次におれごんさんお願いします。

(おれごん) 主に活動中のポリシーとして、子どもを助けすぎない、安全管理、人と人のかかわりを提供する、かみゅーがいった妥協しないでやりたいことからどうすべきかを考えていくこと。自分ができるところを懸命にやれば子どもにも伝わると思う。(司会) 時間がないので皆さんのポリシーだけ聞いていきます。

(まっしあん) 理解。自分は結構負けず嫌い。子どもが泣いてしまった時など、なぜ泣いたのかをしっかりと考える。

(うめちゃん) 相手の立場に立って考えること。プランナーだったらただ注意するのではなく行動の理由を考えることが大事。統括としては班員のことも考える。

(ニック) 1つの活動で何かしら発見をする。例えば「この言葉より言い方を変えれば子どもにとってわかりやすい」など。それを次の活動とかで生かせたときとてもうれしい。

(司会) 発見には、改善点だけでなく、良かった点もありますよね。

第一部 ( 8 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (かんだ、よしの、おーちゃん、シャルル、オラフ、θ、ユキン)

|   |   |
|---|---|
| <p>〈やりがいについて〉</p> <p>(θ) 司会を務めますθです。<br/>それではやりがいについて話し合いしていきます。</p> <p>(オラフ) 自分は、活動を一生懸命につくってきた上で、本番の日に見る子どもたちの笑顔にやりがいをとても感じます。一生懸命にして良かったと思えるからです。</p> <p>(θ) 今の意見に関連する意見はありませんか？</p> <p>(かんだ) 私はプランナー班だったのでその立場から言うと、プランナーは年間同じ子どもを見ていくので、その中でのオラフが言ったような笑顔だったり、成長だったりとはまた違う意味で僕たちを感動させてくれます。だからこそプランナーの子たちの笑顔や成長がやりがいにつながっています。</p> <p>(θ) ありがとうございます。私も子供の笑顔にやりがい、またはうれしさを感じることがあります。</p> <p>(おーちゃん) 子どもと関わる時間が他の団体 {メイフレ以外} より多いし、企画段階の話し合いではいろんな人の意見が聞けて教育者になるための力が身につけている感じがして、それがやりがいにつながっています。</p> <p>(シャルル) パソコンだったり、普段普通はしないようなことの技能が身につく、他の団体に行ったときなどは、自分が技能的に優位に立つことができるのでその点では役に立ちます。今言ったこともやりがいの1つです。あとは、1人では到底できないようなことをみんなでやればできるんだという考えも持つことができるようになりました。</p> <p>(θ) ありがとうございます。メイフレにいるといろんな力が身につきますよね～。</p> <p>今のようなことに関連して何かありますか？</p> <p>(かんだ) メイフレには素晴らしい人たち、優れた人が多いから、その人たちの意見などを聞いていたりすると、自分の意見や考えも変わってくるよね～。実際に僕もメイフレに入ってからだいぶ自分の考えが変わりました。</p> <p>(よしの) 私はホールに属してるからその立場から言いますね。ホールは子どももそうだけどその子どもの保護者とも話す機会がたくさんあるよね～。そんなときにやっぱり社会に出たときのスキルとかが身につくと思う。他には、公民館の先生と関わる際にも大人同士のコミュニケーションというか、そういうものの力が身につくと思う。そういう面でやりがいを感じます。</p> <p>あとは、いやだと思ふことをやる力が身につくこともメイフレではあるね。タイムテーブルとか正直めんどいと思うけどやるみたいな感じです。</p> <p>(θ) ありがとうございます。わたしも1年間やってきてたくさん力が身についたと思います。</p> <p>(ユキン) 活動中に子どもの特徴をつかんだり、関わり方を学んだりできるので、それがやりがいにつながっています。</p> <p>あとは、友達からとてもいい影響を受けることのできる集団なので、そこも入ってよかったな～と思えるところだし、やりがいにもつながっています。</p> <p>(θ) ありがとうございます。</p> <p>私も、皆さんが言ってくれたように子どもと関わる上でのことに</p> | <p>喜びを感じる事が多くあるので、そこにやりがいを感じています。あとはいろんな力も身につくので底も魅力かなとも思います。</p> <p>〈ポリシーについて〉(ボイスレコーダーの不調のため対話形式ではなく箇条書き)</p> <p>(オラフ) 自分が楽しくやらないと他の班員も楽しくなくなり、それが子どもたちにも影響してくるので、まずは自分が明るく楽しくやろうとしています。</p> <p>(おーちゃん) 話し合い中に雑談しよう。<br/>これが話し合い中の雰囲気を良くすることにつながると思うから。</p> <p>(シャルル) 班員1人1人の様子をうかがう。これは班長をしているときによくやっていました。</p> <p>(かんだ) みんなの意見をしっかり聞く。<br/>あとは子どもと対等に接する。自分が子どもだったらと考える。</p> <p>(よしの) 感謝の気持ちを持つ。「ありがとう」たくさん言う。<br/>どんな意見でも取り入れる。<br/>マイナスイメージを持つような伝え方をしない。</p> <p>(ユキン) 子供たちが親しみやすいような存在であること。一緒になって笑ったり、遊んだり。</p> <p>(θ) 子供と接するときに褒めることを意識する。</p> |
|---|---|

第一部 ( 9 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (miwa、えりい、げんき、タルト、なっちゃん、ぐっぴー、まめちゃん)

|  |  |
|--|--|
| <p>(えりい) 小さい頃から自分より年齢の低い子どもたちが周りにいる環境で育ってきたこともあり、かかわる機会が多くだ単に小さい子と遊ぶのが好きだった。メイフレに入り、またさらに多くの子どもたちと接する中で、こちらの予想をどんどん裏切っていく、10人いれば10通りの考え方や行動を示す姿が最近面白いと感じている。やりがいと言えば、今年は2年生として、子どもと直接かかわらない裏での活動も多く経験し、直接かかわって遊ぶことだけが子どもとのかかわりではないことに気づいた。裏で子どもたちのために準備したりすることも、間接的ではあるが子どもたちにかかわっているということであって、むしろそちらの方がやりがいを感じる事ができた。</p> <p>(ぐっぴー) 前期単発・後期プランナーを経験し、他班募集にも多く参加する中でいろんな種類の子を見てきた。自分の中で活動の成功とは何かと考えたところ、運営がうまくいったとか自分たちの思うように事が進んだというより、子どもたちが笑顔になれたかどうかだと思う。活動の中で笑顔になってくれたり、活動外で話しかけてきてくれたりするのが嬉しく、そういうのを大事にしたいと思っている。</p> <p>子どもの方がいるんなどろを見ていたり感じていたりすることも多いので、自分も気を抜いていられないと感じる。子どもと同じ目線で活動するのが大事だと思って日々活動している。</p> <p>(miwa) 4年間やりがいをあまり考えたことはないが、やはりみんなが言うように一番やってよかったと思うのは子どもたちが「楽しかった」とか「来年もプランナーしていい?」と言ってくれた時。準備してよかった、話し合い頑張ってたよかったと思う。後々、過去の活動を振り返って思い出話をするのも楽しい。</p> <p>(司会・まめちゃん) やりがいに絞られると難しいのでもう少し広げて考えましょう。メイフレについての考え方などいろんな方面から広げていきましょう。</p> <p>(げんき) 自分たち2年生が班の中心になって進めなければならないことが多く、活動本番では子どもたちと正面からぶつかり衝突することもあったがそれも子ども理解のひとつ。メイフレに入る前は子どもとのかかわることが全てだと思っていたが、保護者の方々と接する機会も多く、活動を褒めてもらえることが嬉しい。</p> <p>(タルト) 私も活動後に子どもたちが「楽しかった」と言ってくれと、今まで頑張ってたよかったと思える。班付を経験し、言うことを聞いてくれない子と接すると悔しい気持ちになるが、後々考えるとそれもいい経験だと思える。うまくいかないことにやりがいを感じられる。</p> <p>(なっちゃん) やりがいは意識したことがないが、単純にメイフレが楽しい。一つ目の理由としては、子どもとの触れ合いが楽しい。プランナー班では1年間の子どもたちの成長が見られると頑張ってたよかったと思えるから。活動中の失敗も次へ活かすための自分の勉強になる。二つ目の理由は、自分にとっての居場所になっているから。周りの人や班に恵まれていて、話し合いとかが単に楽しい。</p> <p>(司会) 主専が中学校だが、小学生の延長線であるという思いからメイフレに入った。えりいさんと似ているが、自分の考える子どもや教師と、実際のそれとのギャップに面白さを感じている。こういうところで喧嘩する・笑う、この言い方だと伝わる・伝わらない等の発見が面白い。これまでの経験が全てじゃないから今後もっと見ていきたい。また、普段の話し合いでいろんな人の意見を聞いていると、自分とは違う視点のアイデアや発想に感心し、自分ももっと頑張ろうと思える。</p> <p>(司会) お互いのエピソードを聞いて何か共通する部分や逆に自分とは違うと感じたところはありますか。</p> <p>(miwa) 私も中学校主専で、メイフレで学んだこと... レクなどは活かさないことも多いが、前に立って注目させる方法や説明の仕方、声のかけ方など役に立つ面もある。メイフレやってるから大丈夫という過</p> | <p>信もいけないが、中学生と接する時に役立たないというわけでもない。メイフレでの経験や学びを活かせるかどうかは自分次第。子どもとのかかわりだけでなく、実習前の授業づくりの話し合い等にも活かせることが多くある。メイフレでの経験に一工夫加えて自分なりに活かすことが大事。</p> <p>(なっちゃん) 私はえりいと違って小さい子が周りにほとんどいない環境で育って、初めは小学生相手にも人見知りしていたが、今では観察実習等で普通に話すことができる。これもメイフレで子どもたちとのかかわる経験ができてからだと思う。miwaさんがおっしゃるような、どう役立たせるかという段階には至っていないが、子どもたちと接しようと思う第一歩には(メイフレのおかげで)なれた。</p> <p>(えりい) 私もメイフレでの経験の活かし方に関連して、今年の振り返り会で取り入れている支援案について。昨年子どもへの支援・予想は立ててはいたが、あまり意識できていなかったように思う。今年のようにきちんと文字化することで、支援・予想・実際について意識できるようになった。これは指導案の作成にも活かせる就先輩方がおっしゃっていると聞き、役に立つと思った。教員はただカリキュラム通りに指導しているわけではなく、それぞれ身につけさせたい能力を考え、それについて支援し、子どもの姿を予想し、そして実際の姿からまた学び... と繰り返していることを知った。</p> <p>(miwa) 小学生の行動は本当に予測不可能だから、そういうものと知っておくだけでも大切。</p> <p>プランナーをしていた子と実習先で1年後に再会したとき、その子が学級委員長をしていて、プランナーで学んだことを活かしている姿を見て嬉しかった。</p> <p>(えりい) メイフレの中には、子どもが嫌いだけどメイフレに入り、未だに好きにはなれないが接し方を学べた人や、子どもが好きで入ったが、多く子どもたちとかわるうちに嫌いになってしまった人などいろんな人がいて、メイフレは教員になる手前でそういうことに気づける場でもあると思う。</p> <p>(司会) ポリシーについて考えたことはありますか? せっかくなので皆さん考えてみてください。</p> <p>(なっちゃん) 1・2年の時は自分の役割に精いっぱい、子どもの様子をうかがいながら接することができなかったから、来年はしっかりと子どもの姿や表情を感じ取れるように頑張りたい。</p> <p>(タルト) 私も頑張りたいことになるが、話し合いの場できちんと意見を言えるようになりたいと思う。</p> <p>(ぐっぴー) 子どもと接する時の言葉遣いには気を遣っている。自分とのかかわりによって子どもたちにも何かしらの学びがあっほしいと思っている。</p> <p>(miwa) 話し合いに遅れないことと他班にケチをつけないこと。振り返りとかを聞いていて疑問を覚えたりもするが、それはその班が長い時間をかけて話し合ってきたことであるから、きちんと受け止めるようにしている。</p> <p>(えりい) 友達でもない、先生でもない、というこの距離・関係で子どもたちと接することができる貴重な今を大事にしたい。教員になってからは、今のこの距離・関係で接することは二度とできないから、今のうちにたくさん経験をしておきたい。</p> <p>【まとめ】“メイフレ”は子どもとかわるだけが全てではなく、サークルとして居場所になっているという側面があったり、話し合いという場に慣れるという経験ができたもする。様々な経験を積み、幅を持つことが、今後の人生において何かしら役に立つことがあるのではないだろうか。</p> |
|--|--|

第一部 ( 10 ) 班 テーマ 「自分のメイフレについて」

メンバー (せん、まっしゅ、ベル、べっかむ、ミリオン、なる、ちゃい)

|  |  |
|--|--|
| <p>&lt;やりがい&gt;</p> <p>(司会:せん) 自分のメイフレと題して、やりがいとポリシーについて考えてもらいたいという風に思ってます。</p> <p>(ミリオン) メイフレに入った理由というのが、子どもが好きっていうのが一番あって、教育学部に入ってもあんまり子どもと関わる機会がないよっていうのを聞いて、何か子どもと触れ合う機会があるようなものに入りたくなって思ったのがメイフレに入ったきっかけです。視点が多くなった、視野が広がったっていうのがメイフレに入ってきたものかなって思います。子どもと関わってなかったら気づけなかったこととかに気づけるようになったかなって自分では思ってます。メイフレに入って学ぶことが結構あって、自分が教師になったときに役立つことを学べているのがやりがいかなって思います。</p> <p>(せん) 同じように視野が広がったって方いらっしゃいますか。</p> <p>(べっかむ) やっぱりなんか、話し合いとかもいっぱいあるし、振り返りとかもあって、他班と交流するし、僕はプランナーだったんで、子どもと会議を進めたりもしてたんで、なんか、そういうところで一緒に考えられるっていうかどうやればいんだろうっていうところを、子どもに対しても、こっちに思惑があったときは仕掛けて引き出そう、としたりはするけど、単純にどうとでもないとき、レクとかを一緒に考えるときに、何を考えながらこの子は行動しているんだろう、とか一緒に活動する学生も会議のときには、何を一番に優先して考えているんだろうなって、そういう他人を知る、というか、視野を広げるということかなと、いう風に考えてます。</p> <p>(せん) ちなみに、具体的にどういう子どもの行動とか見られて、視野が広がったってかありますか。</p> <p>(べっかむ) 会議中に意見をいいたがりいいたがりの子どもだったんだけど、その子がいざお客さんをもてなす人になったら、僕が椅子をはこんでたら、僕から椅子を受け取って並べていったもん。他の子は気づいてなかったけど、その子だけは気づいてて、立場が変わると、考え方も変わるのかなって思って、いい一面を見ることができた。</p> <p>(せん) 次ベルさんお願いします。</p> <p>(ベル) 私も、視野が広がるっていうのもあるんですけど、なんか思ったのは、話し合いとかの過程でいろんな意見が出て、より良い活動をするためにみんなで意見を出し合って、活動本番に、自分たちが企画したものを楽しんでくれたり、喜んでくれたりしたときに、やりがいっていうか、メイフレに入ってよかったなって思います。</p> <p>(せん) 似たような意見ありますか。</p> <p>(ちゃい) ちょっと似ちよん。えっと、やりがいを感じる瞬間っていうのが、あからさまだけど、保護者の反応がすごい自分の中であって、そっちはっか気にしとったらいけんだろうけど、そんなに回数としてあるわけじゃなくて、どういう場面であるかなって思ったら、活動の帰りに「来るの楽しみにしとたんよ、ありがとう」とか、プランナーだとか何回もあるから、手紙で、ありがとうごさいました、とか、楽しんでましたとか、反応が返ってくるってことは子どもが話してるってことだ</p> | <p>なってあって、学生に見せれない子ども、親には話せるとかで、楽しかったって伝えてるってことを、保護者系で伝わってくるのがうれしいなって思ってる。子どもの反応をちゃんとした言葉で保護者から伝わってきたから、うれしかったっていうかやりがいの一つかなと思います。あとは、視野が広がるに繋がるけど、教採の勉強をしてるとき、面接の練習とかで、「あの人なら何ていうかな」って、メイフレの人で考えてることに気づいて、活動の中で自分の実践に活かしてきたときにやりがいを感じるなって思いました。</p> <p>(なる) やりがいは楽しいときって思っちゃった。せつかく教育学部入ったから子どもっていっぱい関わりたいって思って入ってきたので、子どもっていっぱいしゃべれたり、遊べたりとかしたり、プランナーだと一年間って長いスパンだから、頼りにしてくれたりしたときに、うわー入ってよかったな、楽しいな、って思って。まじめな感じのやりがいだと、会議とかで子どもの様子をみて、もっとこういう風な支援をした方が、しっかり話し合えそうっていうのを観察して、支援を考えて、次に活かすっていうのが、私は特別支援何ですけど、実習とかでも考えたりするから、そういう練習ができてののかなって思います。</p> <p>(まっしゅ) 小学生くらいの子と関わるのが楽しいかなって思ってます。話し合いのときとかは、いろんな人の考えを知ることができる、っていうのも、自分がちょっとステップアップじゃないけど、できる感じがするし、私自身が企画するのが好じる。</p> <p>(せん) 私は結構なるさんに似てるんですけど、自分がやってる活動が先輩方がした活動をどんどん修正して、改善点見つけて、それをよくしていくっていう活動になってるので、自分の活動が次に伝わって、それが子どもの楽しさに繋がるっていう子どもの楽しさサイクルみたいになってるのが、子どもを喜ばせる、子ども理解を謳ってるメイフレでやりがいを感じる部分かなって思います。</p> <p>&lt;ポリシー、こだわり&gt;</p> <p>(ミリオン) 活動においてのこだわりは、私は、自分も楽しもうと思ってやってるっていうのがポリシーかなって思います。学生は、次はあれして、これして、って考えることがいっぱいあって大変だけど、それが一番じゃなくて、自分が楽しんでるのが子どもに伝わってほしいっていうのがこだわりかなって思います。</p> <p>(まっしゅ) 私は、メイフレで話し合いをしたりとか、活動したりすることで、一番に考えてるのは、まず自分が楽しむことを一番考えてます。自分が楽しまないと、損だと思われ、楽しんでたら、子どもにも伝わればいいなって。</p> <p>(ベル) 私も楽しむっていうのはもちろんなんですけど、全員が活動において全員が楽しめるのが、私も楽しんだ気がして、みんなに目を向けることをポリシーにしています。</p> <p>(べっかむ) さっきと喋ってることかぶるけど、考えられるってところが、活動をやる中で、絶対どっかに考えるタイミングを入れたいと思ったりしました。どこかに、なにか、考える要素を含めてほしいなって思う。</p> |
|--|--|

(なる)話し合いの中では、周りの意見をいったん受け入れる、かな。自分の意見がいいと思ってても、それだけじゃ決まるに決まらないので、全員の意見を聞いて、自分の意見を照らし合わせて考えてる、考えるように頑張ってるかなって、思います。で、活動は、こっちが切羽詰まったりしたら、それも子どもたちに伝わってしまうかなって思うので、周りをよく見たり、余裕をもつようにしたりとか、あとは、子どもと目線を合わせる、上からにならないっていうのに気を付けてます。

(ちやい) 学生の話し合いにおいては、自分の学年とかをみて、自分の役割を考えたいなって思ってた、今年だったら、二年生で話し合いができてたし、三年生もしっかりしている子たちがプランナーにそろってたので、四年生で話し合ってた、拍手するだけでいいねって、話し合い中に、よっとか口出すことないねって、おしゃべりして帰るくらいだったけど、逆にそれがこだわりかなって。活動だったら、さっきも先生が言ってたけど、子どもの自尊感情をすごい高めることをしたいと思って、それは一年生の時に、活動のあとで、先生が全国的に子どもの自尊感情が低くなって話をして、それすごく悲しいなって、自分を大切に思わないっていうのがすごく嫌だなって思ったので、学校より小さい規模でできる活動のメイフレなら、一人一人を大切にできるな、それなら自尊感情育つなって、特に会議とかすると、自分の意見を言える場があるとか。例えば怒るときとかも、ただ車のところに飛び出したら危ないけ、それをやめさせるためにこらって怒るんじゃなくて、じゃなんで怒ってるかっていうと、あなたが死んだら悲しむ人がいっぱいいるし、すごく大事にしてるから怒ってるんだよってことを伝えるように怒ろうとか、気を付けてたので、自尊感情を高めるっていうのが、自分の中のこだわりで軸になってるかなって思いました。

(せん) 私は、なるべくとことんやろうって思ってた、今年度でキャンプ次で三回目で、外部依頼も2.3個行って、いろいろかじりまくってるんですけど、、、準備段階が大変だったとしても、終わった後に子どもたちが、楽しいって思ってくれたら、なんか、それが全てで、どうでもいいやって、結果が全てみたいなの、丸くおさまればいいのかって思ってた、やるならとことんっていうのが自分の中の強いこだわりとして、今もってます。